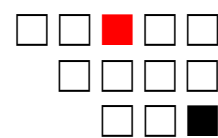


尾崎行彦木口木版展



—25 平方 cm との出会いシリーズ
庭に咲く花シリーズを中心に—

平成30年10月5日（金）～9日（火）

10：00～17：00

（7日（日）は16：00まで）

札幌山の上ギャラリー

「前回2014年の開催より4年ぶりの札幌での個展となりました。
仙台であいも変わらず木口木版の制作をつづけています。
木口木版『25 cm²との出会いシリーズ』と『庭に咲く花シリーズ』、
そして2015年出版した短編連作小説『黒いドアを開けて』の
挿し絵を展示したいと思っております。
ご来場いただければ幸いです。」

尾崎行彦氏略歴

- 1955年 札幌市に生まれる 父親は札幌芸術賞・札幌文化奨励賞受賞の版画家尾崎志郎氏（北海道版画協会創立会員）
- 1973年 札幌西高校卒業
- 1977年 岩手大学教育学部特設美術科卒業
- 1978年 札幌大同ギャラリーにて父子版画展
- 2009年 盛岡ギャラリー彩園子にて尾崎家三人展
- 現在宮城県芸術協会会員
- アトリエ「ギャラリー」スタジオ「主宰」

木口木版 日本伝統の板目木版とは異なり非常に堅い木（ツゲ、ツバキ、梅等）の木の年輪の方に彫る版画で、西洋木版ともいい活版印刷の挿絵に使われてきた木版画

